

大事な役目

美山 優月

小郡市立 立石小学校

「台所や、シャワー、トイレで使っている水って、どこに流れているんだろう。」わたしは、六月十七日に、宝満川浄化センターに行きました。宝満川浄化センターは、下水道の、よごれた水を集めて、きれいにし、その水を、川に流すという、とても重要な役目をしている場所です。

その場所について、くわしく説明します。まず、下水道から流れてきた汚水を、ポンプ場でくみあげます。そして、沈砂池で、大きなゴミや土砂を沈めて、とり除きます。次に、最初沈殿池で汚水をゆるやかに流し、小さなゴミなどを沈めます。その後、反応タンクで、微生物の入った活性汚泥を混ぜて、空気を吹き込み、よごれを沈みやすくします。最後に、最終沈殿池の、反応タンクで大きなかたまりになった泥を沈めて、上水を流します。そして、水質検査で処理した水が川や海にきれいに流せるかどうかをたしかめ、検査します。次に消毒設備で消毒をし、放流口にその水を流します。

シャワーやトイレで使った水は、このように、とてもきれいにしないと、川や海に流せないんだなと思いました。

わたしは、宝満川浄化センターの人からやってほしくないことを言われました。それは、二つあります。

一つ目は、トイレです。トイレットペーパー以外の紙は、流したりしないということです。二つ目は、ご飯を食べ終わった時のお皿をそ

のまま水で流さないということです。理由は、そのまま油が流れて、水がきたなくなるからです。今の自分は、ご飯を食べ終わった時のお皿を、流していたから、今度からは、ティッシュペーパーや、キッチンペーパーでふき取って、お皿を水で流したいと思います。本当に、もうしわけない気持ちになりました。そして、お母さんが、トイレそうじをしている時に、使ったティッシュペーパーを流さないのは、なぜだろう。と思っていました。でも、トイレの排水口から、トイレットペーパー以外を流すと、排水口に、そのままとげずにかたまってしまうから、トイレットペーパー以外流したら、ダメということが分かりました。

下水道を大切にすることが分かりました。川や、海、湖などの自然を守ろうとすることで、わたしたちのくらしに欠かせない下水道を守ることができます。

このように、宝満川浄化センターは、汚れた水（汚水）などをきれいにしてくれるなど、すごく重要な役目をしています。

今回学んだことを活かして、これからもトイレでトイレットペーパー以外の紙などを流したり、台所で油がついているお皿をそのまま流したりしないように、したいです。

そして、学んだことをたくさんの人に伝えたいです。